

第16回マーチングバンド・バンドワークिंग岡山県大会 審査規定 ～マーチングバンドの音節～

県大会の審査は次の大会に繋がるアドバイスを重視して行い、点数はA～Eの5段階評価で表す。

1. マーチングバンド部門審査内容

(1) ショー全体の効果(篠原 修 先生)

- 音楽効果
- 視覚効果

(2) 管楽器の技術(目良 康浩 先生)

- 管楽器の技術
- 全体的効果

(3) 打楽器の技術(鈴木 夕貴 先生)

- 打楽器の技術
- 全体的効果

(4) カラーガードの技術(樋口 亜紀 先生)

- カラーガードの技術(カラーガードがない場合は演技・動きの技術を審査)
- 全体的効果

* 全体的効果(目良先生、鈴木先生、樋口先生)

管楽器の技術、打楽器の技術、カラーガード、演技・動きの技術それぞれの観点から作品全体の効果についての審査。

審査員は各担当の観点から2項目についてそれぞれA～Eの5段階評価で審査する。
※今年度から得点化は行いません。

2. コンテストの部の審査

(1) タイムオーバーによる失格はないが、大会運営に協力すること。

(2) ショー全体の効果、管楽器の技術、打楽器の技術、カラーガード(演技・動き)の技術の内容でそれぞれ1名、計4名で審査する。

(3) 各審査内容の2つの観点についてA～Eの5段階評価をする。

(4) 金賞、銀賞、銅賞については全ての演技終了後、審査委員会にて決定する。

(5) 中学生・高等学校・一般の部の各部門で各2団体以上のエントリーがあった場合、審査員の審査内容の観点から最も印象に残った団体に対してパフォーマンス賞、プラス賞、パーカッション賞、カラーガード賞を贈呈する。

3. フェスティバルの部の審査

- (1) タイムオーバーによる失格はないが、申告時間を遵守すること。
- (2) 審査方法は、コンテストの部に準ずる。
- (3) 同一カテゴリーに3団体以上団体のエントリーがある場合は、最も観客を魅了したと判断された団体にフェスティバル賞を授与する。

※すべての部門でICレコーダ審査を行う。